



# 日本防災士会広島県支部会報



第19号 平成21年6月6日

## 日本防災士会広島県支部活動報告

### 【第8回広島県支部勉強会報告】

日時：6月1日(月)13:30~16:00  
場所：しまなみ交流館(テアトロシェルネ)  
内容：第1回 広島県防災フォーラム  
参加者：桑木副支部長、今井、楠田防災士

広島県と尾道市が主催して「減災」に向けた活動推進などを目的に開催され自治体職員、地域の自主防災組織のメンバー等、約380名が参加しました。

広島大大学院工学研究科の土田孝教授の基調講演では、地震や台風などの自然災害が近年大規模化する一方で、行政の財政の制約や人口の減少により、体制の確立が難しくなっていると指摘されました。

「家族の安全を守る自助や自主防災組織などの共助を、日頃から地方自治体等の公助と連携を図って、防災協働社会をつくるのが大切」と述べられました。

パネルディスカッションでは、自主防災会、社会福祉協議会、民生委員、消防団のメンバー等から、各団体の防災活動や、自主防災組織の組織率向上へ向けての方策のアイデアについての報告や意見交換が行われました。

自主防災組織の組織化の促進方策として、梶谷節夫三原市小坂町防災会会長からは、町内会と自主防災組織が同じメンバーだったり、社会福祉協議会や民生委員主導と言った形で運営すると、責務が重なってしまい対応する事項が過負荷となるために運営が長続きしない。そこで、各団体が一同に会して意見交換を行いながら、それぞれの得意な分野で作業を分担しながら、地域連携を図ることができると、組織的に防災活動を持続させることができるとコメントされとても参考になりました。

コーディネーターから会場に意見を求められたところ、桑木副支部長から、「瀬戸内海では地震が少ないと思わないで、四国の中央構造線による地震等も想定して、日頃から地震防災の備えは重要。今後予想される地震に備え、起これば広範囲に被害が予想されるので、一つの市町の防災体制だけでなく周辺市町の自主防災組織はじめ関連団体が協力して、対応できるよう体制に取り組む準備が必要です。」と提言されました。

ロビーでは、太田川河川事務所の土石流発生モデル、家具類転倒実験装置で、土石流の驚異、砂防堰堤の効果、転倒防止器具の必要性についてデモンストラレーションが紹介されていました。

今回は、急な依頼にもかかわらず、広島県危機管理課のご厚意で防災士会のパンフレットも受付におかせていただき、多くの参加者に持ち帰っていただきました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

広島県では「防災フォーラム」を年度内に県の西部と北部で開催を予定しているとのことです。

引き続き、広島県支部としても支援して行きたいと考えています。

### 【今後の予定】

6月17日(水)【第10回広島県支部勉強会】

18:30~19:30 NPO法人健康危機管理協会講演会・交流会

演題：どんな土砂災害がどんな場所でどんな時に発生するのか

講師：中井真司氏 復建調査設計(株)防災システム部 防災課

場所：幟会館2F(広島市中区八丁堀3-1)



6月はひろしま防災月間



城納副知事挨拶



パネルディスカッション



防災関係資料を持ち帰る参加者

# 防災フォーラム ～ 備えて安心 みんなで防災 ～

6月は ひろしま防災月間 です 6月29日 ひろしま防災の日

## 【開催趣旨】

地震、台風、大雨 … 災害はいつでもどこでも起こりうるものです。

自然災害発生時の被害を最小限に抑えるためには、「自助」、「共助」、「公助」を担う県民、事業者、自主防災組織、災害ボランティア、県、市町がそれぞれの役割を果たすとともに、お互いに協力することが大切です。

広島県では、災害に備え、社会全体で防災対策に取り組む「防災協働社会」の実現に向けて、「広島県防災対策基本条例」をつくりました。

このフォーラムは、条例の制定を期に、県民一人ひとりの防災意識の高揚を図るとともに、「減災」に向けた取組をより一層進めることを目的として開催します。

日時：平成21(2009)年 6月1日(月) 13:30～16:00

場所：しまなみ交流館(テアトロシェルネ) ホール  
尾道市東御所町 10-1 電話 0848-25-4073

## ■ スケジュール

13:30 開会

13:40 基調講演

○テーマ：「大規模化・多発化する自然災害に備える」(予定)

○講師：土田 孝 広島大学大学院工学研究科教授

(広島県防災対策基本条例検討委員会委員長)

(休憩20分)

14:50 広島県防災対策基本条例について

14:55 パネルディスカッション

○テーマ：「災害に備えるための地域の助け合いの輪を広げるには？」

— 自主防災組織の組織化の促進方策を考える —

○コーディネーター：土田 孝 広島大学大学院工学研究科教授 (基調講演講師)

○パネラー：奥本美智子 尾道市簡湯地区自主防災会

柏原 勇 尾道市消防団副団長

靴谷 節夫 三原市小坂町防災会会長

竹迫 彰 尾道市吉和地区社会福祉協議会会長

細川 龍彦 尾道市民生委員児童委員

藤間 裕二 広島県消防保安課長

16:00 閉会

主催：広島県・尾道市

問い合わせ：広島県 危機管理課 計画調整グループ

TEL 082-513-2784

関連ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp> (広島県ホームページ)

<からし>危機管理・防犯・安全>防災・消防>広島県防災対策基本条例

土石流模型実験装置や  
家具類転倒実験装置による  
デモンストレーション  
を行います!

## 平成21年度 第1回防災フォーラム基調講演

大規模化・多発化する自然災害に備える

広島大学大学院工学研究科 土田 孝

### 1. 大規模化する自然災害

- ・これまでの経験則が生かせない災害の発生
- ・日本国内における過去50年間の大地震
- ・地球規模の環境問題と自然災害

### 2. 防災を取り巻く社会情勢

- ・財政難による建設投資の縮小
- ・急激な少子高齢化
- ・復興後も回復できない経済社会的なダメージ

### 3. 広島県における地震被害想定調査

- ・対象となる地震
- ・被害想定的前提と手法
- ・想定結果について

### 4. 防災協働社会の必要性

- ・「公助」と「自助」・「共助」の補完による防災力の向上
- ・災害時の情報の活用＝道路管理用画像情報の活用
- ・道路管理者間の情報の共有、市民が提供する情報の活用
- ・企業の備え（BCP）と「公助」との連携

### 5. 大学での取組み例

- ・斜面の警戒・避難の精度向上：簡易な調査法による地盤情報の収集による災害予測精度の向上
- ・災害の前兆現象の研究：土砂災害とニオイの発生
- ・学生チーム対抗形式による防災危機管理コンテスト

### 6. まとめ